

情報の届きにくい地域に 情報の窓口を

令和元年 9月5日

いつでも、どこでも、だれでもが、がんの情報を得られる地域づくりの第一歩 (in札幌)
会場：札幌市教育文化会館

福島県 新地町図書館 主任主査兼管理係長兼司書 目黒美千代
福島県立医科大学附属病院 認定がん専門相談員 渡邊美伊子



【新地町からの距離】
車での最短時間

- ・ 仙台市 約1時間
- ・ 宮城県立がんセンター
名取市 約45分
- ・ 福島県立医科大学
福島市 約1時間15分
- ・ いわき市医療センター
いわき市 約1時間35分
(高速利用)
約2時間25分
(一般道路)

福島県は、東北地方の一番南、東京からはおおむね200キロメートル圏内に位置しています。
人口は、令和元年7月1日現在で、1,847,195人となっています。
面積は、13,783.90平方キロメートルで、全国では北海道、岩手県について3番目の広さです。

相談支援部会

出張がん相談開催地



福島県立医科大学附属病院

がん相談支援センターについて

【スタッフ】

医療ソーシャルワーカー（専従） 3名
がん看護専門看護師2名（兼務）



（がん相談支援センター入口）



図書コーナー

（患者ラウンジ内）

相談窓口：平日 8時30分～17時まで相談受付
相談受付：面談、電話（直通）、ファクス、メール
場所：みらい棟2階 外来化学療法センター近く

患者ラウンジ内 図書コーナー

【 分 類 】

- 各種ガイドライン
 - 医療一般
 - 体験記・心のケア
 - ケア（食事など）
 - ピアサポート
 - 支援/その他
 - 資料
- 雑誌など

【 更 新 】

- ・ 随時
- ・ 年に一度点検（12月）
（センター内マニュアルに明記）



【 最新情報コーナー 】

随時、新しく保険適応になった情報やガイドラインの更新等、最新情報を掲載

**福島県での
取り組みのご紹介**

福島県がん診療連携協議会 相談支援部会

【部会長】

相談支援部会長（医師 1名）

【部会委員】

患者団体代表者（1名）、
患者支援団体代表者（1名）、
福島県医療ソーシャルワーカー協会代表者（1名）
福島県がん診療連携拠点病院
がん相談支援センター相談員（10名）

【オブザーバー】

福島県地域医療課（1名）、
地域総合病院相談員（1名）

【事務局】

福島県立医科大学附属病院（3名）

ひとりで悩んでいませんか？
福島県がん診療連携拠点病院
がん相談支援センター

ご相談内容

- 医療者とのコミュニケーション
 - 医師の説明が難しい
 - 医療者に自分の疑問や希望をうまく伝えられない
 - 何を聞けばよいかわからない
- 社会との関わり
 - 病状について、職場や学校にどのように伝えればよいか
 - 仕事を続けながらの治療はできるか
- 緩和ケア
 - 地域で緩和ケアを受けられる病院はあるか
 - 治療を続けながら緩和ケアを受けるにはどうしたらいいか
- 心のこと
 - 気持ちが落ち込んでつらい
 - 思いを聞いてもらいたい
- 家族との関わり
 - 家族にどう話していいかわからない
 - 家族の悩みも相談したい

○がんの検査・治療・副作用

- 自分のがんや治療について詳しく知りたい
- 医師から提案された以外の治療法がないか知りたい
- セカンドオピニオンを受けたいが、どこに行けばよいのか

○経済的負担と支援について

- 活用できる助成・支援制度、介護・福祉サービスを知りたい
- 介護保険の手続きを知りたい
- 仕事や育児、家事のことで困っている

下記のがん相談支援センターにお気軽にご相談下さい。
プライバシーは厳守いたします。相談は無料です。

- 1 福島県立医科大学附属病院（福島市） ☎024-547-1088
- 2 会津中央病院（会津若松市） ☎0242-25-1592
- 3 竹田綜合病院（会津若松市） ☎0242-29-9832
- 4 太田西ノ内病院（郡山市） ☎024-925-8833
- 5 総合南東北病院（郡山市） ☎024-934-5564
- 6 坪井病院（郡山市） ☎024-946-7630
- 7 白河厚生総合病院（白河市） ☎0248-22-2211
- 8 いわき市立総合健康共生立病院（いわき市） ☎0246-26-3117
- 9 福島労災病院（いわき市） ☎0246-45-2251

福島県がん診療連携協議会・福島県
事務局：福島県立医科大学附属病院

どんな活動をしているの？

- 年に2回、相談支援部会を開催
- 都道府県拠点病院の集まりで周知されたことを、県内の拠点病院等へ伝えて共有。福島県での対応を検討する。
- 研修ワーキンググループ（がん相談の質の均てん化を図る活動）
- **広報ワーキンググループ**（がんに関わる情報を提供するための活動）
※各ワーキンググループを随時開催し、部会にて報告、相談、検討
- がん患者さんのチャリティーイベント「リレーフォーライフ」へ2016年度より毎年参加



（リレーフォーライフ2018）

【広報ワーキンググループ】

がんに関する情報を提供するための周知活動

主な活動内容

- ・がん相談支援センターチラシ作成・更新
- ・福島県がんサポートブックの作成・更新
- ・**特別講演会 & 出張がん相談を開催**
- ・その他



H28年10月:南会津



H29年10月:南相馬



H30年9月:新地町

相談支援部会

出張がん相談開催地



図書館との連携事業

いつでも、どこにいてもがん情報を入手できるために、
地域の中の図書館でもがんの情報を得られる体制づくりが始まりました。

**福島県は民間の病院が多いため、
図書館との関係性が薄い。**



**連携を図りやすくなるように県の担当者へ
文言を県として示していただけませんか相談。**

(平成29年5月 相談支援部会の席上)

福島県がん対策推進計画（第3期）

2、相談支援及び情報提供

県は、県民ががんに関する情報を身近に収集できる環境を整備するため、福島県がん診療連携協議会相談支援部会と図書館等の公的施設との連携を支援します。

平成30年3月 上記の文言を追記していただきました。

福島県立図書館

【連携先】福島県立医科大学病院 (平成29年から)

- ・ 図書館に置く蔵書について、福島医大病院臨床腫瘍センター長より助言。
- ・ キャビネットは病院で準備・設置
- ・ 定期的に病院の相談員が図書館へ行き、情報を更新している。
- ・ 冊子は福島医大病院が提供。
- ・ 県立図書館担当者が、県内の図書館へ資料配布等、情報提供を協力。
- ・ がんに関する講演会を県立図書館にて開催。
(令和元年6月22日)



いわき市立図書館

【連携先】いわき市医療センター
(平成30年から)

図書館内の医療コーナーにて、
がんサロンの情報や国がんの冊子、
市民公開講座などの情報を提供している
「がん情報ギフト」使用



新地町図書館との連携が

はじまったきっかけ

相談支援部会として、

出張がん相談を2回開催しましたが・・・

・なかなか参加者が集まらない。

どうしよう・・・

・地域の行政の方の協力が得られない・・・。

・次はどこで開催地でやったらいいか・・・。



県立図書館さんへ相談してみよう。

ちょうどその頃・・・

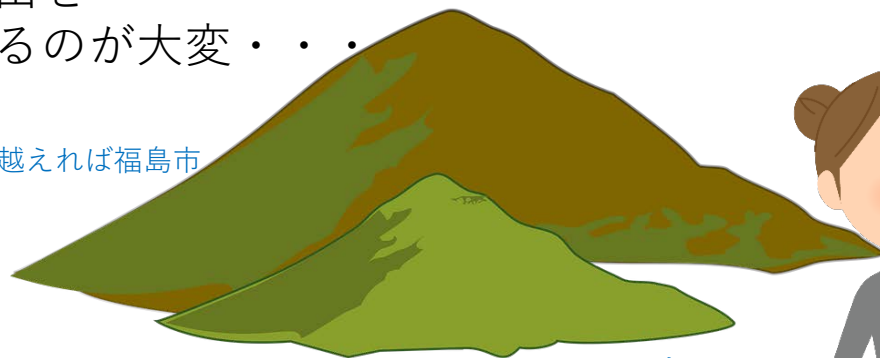
新地町図書館のほうでは・・・

こんな話が上がっていました。

県立図書館と、県立医大病院が連携して講演会を行っているけど、新地町でもそういう話聞きたいよね。

この山を
越えるのが大変・・・

山を越えれば福島市



新地町



県立図書館の方に
パブリックビューイングとか録画の上映会をするとか、
県の行事に参加できる方法はないか相談してみよう！

新地町図書館について

【スタッフ】

館長(嘱託)	1名
司書(行政職)	2名
臨時職員	2名



【所蔵】 85,699点

【年間来館者数】 27,489名

【場所】 複合施設の2階

(1階：保健センター、その隣は生涯学習係が入る公民館)



県立図書館の担当者より医大病院に電話連絡

「新地町図書館から



『自分たちの町でもがんに関する

講演会などを聞く機会が欲しい』

と話があったので紹介しました。」

今、日本人の2人に1人が、がんになると言われています。がんの予防と診断、その後の治療やかかる費用などについて一冊に集めました。これからの人生を健康に自分らしくお過ごしいただくための一助になれば幸いです。なお、新地町図書館でも様々な情報を得ることができます。

◆特別講演◆ 14:00~15:20 (質疑10分程度)

早めに対処!がんの予防と治療について
~がんと上手につきあうために~

【講師】福島県立医科大学 地域医療人文学部助産学 本多 つよし 先生

◆寸書◆ 15:30~16:00

がん相談員「熊谷一恵」による「聞いて納得!のためになるお話」

◆がん相談コーナー◆ 14:00~16:30/場所:保健センター1F

県内がん診療連携拠点病院のがん相談支援センターで働いている経験豊富な相談員が、がんに関する様々なご相談をお受けします。(秘密は、厳守します。)



日時 H30年 9月 29日(土) (受付)13:30~ **参加無料**

会場 新地町図書館「視聴覚室」・展示室

対象者 新地町員及び地域住民の皆様、医療・保健・福祉の分野で働いている方、行政の方

定員 50名 申込 専用の用紙を使用し、お申込み下さい。なお、当日の参加も可能です。

◎主催:福島県がん診療連携協議会相談支援部会
◎共催:福島県・新地町

◎後援:国立がん研究センター(一社)福島県支部会(一社)双葉郡支部会・相馬市・鹿嶋市・広野町・楢岡町・富岡町・川内村・大熊町・双葉町・真江町・高岡村・飯館村(予定)

公立大学法人 福島県立医科大学附属病院 臨床医療センター
(担当:渡辺 真由子) TEL:024-547-1088 (内線)

お問い合わせ

「特別講演会」&出張「がん相談」in新地町

「特別講演会」&出張「がん相談」in新地町 **開催決定!**

事前打ち合わせ

【参加者】新地町図書館の館長、司書2名
福島県立図書館司書1名
福島医大病院がん相談支援センター相談員2名
(相談支援部会 事務局)

【場 所】新地町図書館(初回と、会場設営の時のみ)

【方 法】直接話し合いをした後、各担当でメール・電話でやり取り

住民のがんに関するイメージ、ポスターや申し込み方法、講演内容等について率直な意見を出していただきました。



新地町図書館で困ったこと



「県立医大病院と連携をおこなってよろしいでしょうか？」

**「がんの事なら保健センターの仕事だろう。
講演会なら公民館の仕事だろう。
なんで図書館が他の課の仕事を取ってやるんだ?!」**

全国的にがん相談支援センターと
図書館の連携ははじまっているのに・・・

そんな時・・・

**以前の上司に相談をしたところ、
背中を後押ししてくれました。**

とてもすばらしい事業

図書館はいろいろなジャンルの本を置いて
いるんだから、何をしてもおかしくないよ。
実施するときには、是非声をかけてね。

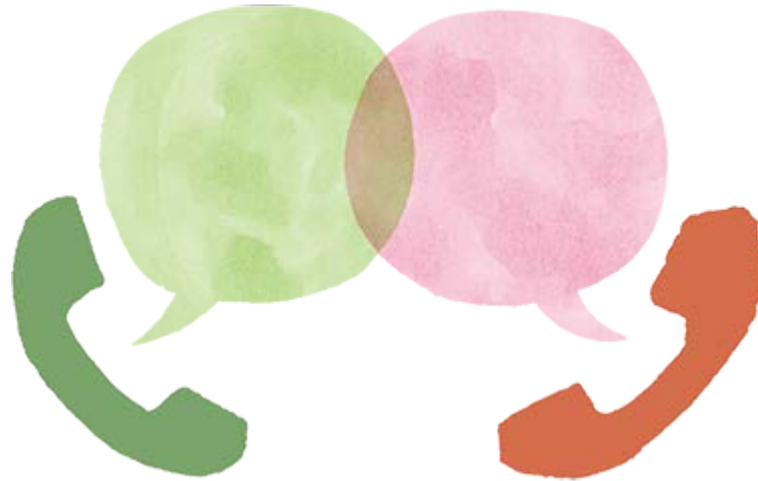


他の方からも・・・

「そもそもがん相談支援部会が図書館と連携する事業なんだから、
図書館がやらないと成立しない事業ではないの？」

福島県立医科大学附属病院へ相談

お互いWinWinの関係の事業展開をしましょう。



講演会だけでなく、どちらにもメリットのある
事業にして、そこをアピールしていきましょう！！

新地町 健康福祉課長へ相談

「特別講演会 & 出張がん相談」について

①図書館のメリット

※図書館の職員も医療関係者から、専門的なアドバイスや資料の情報をいただける事

②講演会は保健センターと連携事業として実施すること

※保健センターの保健師長さんにも相談室を数か所お借りしたい。
講演会にも協力していただきたいとお願いし承諾していただいた。

以上を説明して何とか納得していただきました。



広報の分担



	新地町図書館	福島医大病院
ポスターの作成	内容について検討、ご意見をいただく。	新地町担当者と話し合った内容をまとめて、作成は会津の竹田総合病院へ依頼。
印刷	データを基に新地町の分は印刷	<ul style="list-style-type: none"> データを新地町図書館担当者へ送付。 新地町以外の市町村分と新地町も含めた医療機関の分、福島県内の拠点病院の分を印刷
広報	<ul style="list-style-type: none"> 保健センターでの健康推進委員会の際に、事業について周知。 町内健康関係事業所への広報依頼 近隣市の図書館へ広報依頼 	<ul style="list-style-type: none"> 福島県へ共催・ホームページの掲載依頼 医大病院のホームページ、ツイッター等へ掲載 相双地区全域、国立がん研究センターへ後援依頼 新聞社・ラジオ局へ広報依頼 相双地区の病院・訪問看護ステーション、包括支援センター、居宅介護支援事業所へチラシを送付
広報誌への依頼	新地町の広報紙やホームページに掲載	新地町以外の市町村へ広報紙への掲載を依頼
予約	新地町図書館でも受付	締め切り近くに図書館さんより申込者の情報をFAXでいただき、医大の分とまとめて受付表を作成。

いよいよ当日・・・

特別講演会 「早めに対処！がんの検診と治療について」



国立がん研究センター
伊東氏

福島県 地域医療課
阿部氏

新地町 教育長
佐々木氏

講師：本多つよし先生

ご挨拶いただきありがとうございました。

熊谷一座による寸劇 「聞いて納得！ためになるお話」



参加者から「がんの相談窓口でそういうことが相談できるんだとわかった。」

出張がん相談(会場1階保健センター)



講演会の間なども
相談がありました。

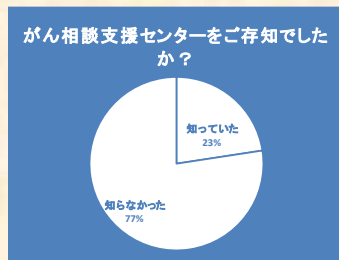
正しい情報の取り方
について冊子などを
通してお伝えしました。



資料コーナー

アンケート結果(一部抜粋)

- 知らないことは不安になる要因だと感じますので、病気の成り立ちや具体的な治療法も含めた今回のような講演会はたくさん聞きたいです。福島市ではたくさんやっているようですが、是非相馬でもやってほしいです。
- 分かりやすいお話をありがとうございました。寸劇も共感できました。現代の医療技術を信頼しています。現実を前向きにとらえていきたいと考えています。
- 本日出席できなかった方へ広げてほしい。
- 地域での実施や企業での実施なども良いのではないかと思います。



77%の方ががん相談支援センターを知らず、知っていてもどんなことを相談していいか分からず利用したことがない。という現状を改めて痛感しました。

(2階が会場の新地町図書館)

**新地町図書館のみならず
健康福祉課、保健福祉センターなど
行政の皆さんのご協力があり、
地域のニーズに適した講演会を
開催することができました。**





**懇親会には新地町の
皆さんもたくさん
参加してくださいました。**

**おいしいお酒とお料理と
共に話に花が咲きました。**

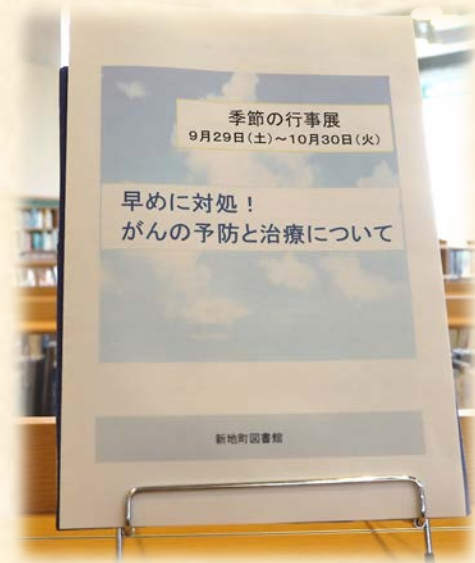
会 場
松川浦
(相馬市)



新地町図書館

【連携先】

- ・福島県立医科大学附属病院
- ・福島県がん診療連携協議会相談支援部会 広報ワーキンググループ



- ・図書館に置く蔵書について、福島医大病院 臨床腫瘍センター長より助言。
- ・図書館の自由度の中、正しい情報を提供できるよう連携を継続している。
- ・がん情報サービスから拠点病院へ届く、冊子に関する最新情報をメールにて送信し、情報を共有している。
- ・「がん情報ギフト」使用

**その後の
福島県内の図書館さんとの連携**

県内の図書館へ配布

福島県立図書館の担当者へ依頼して、県内すべての図書館へ、がん相談支援センターのチラシとがんサポートブック、国立がん研究センターのがん情報サービスのリーフレットを配布していただきました。

ひとりで悩んでいませんか？
福島県がん診療連携拠点病院
がん相談支援センター

ご相談内容

- がんの検査・治療・副作用**
 ●がんが何の段階について詳しく知りたい
 ●検査から結果が出るまでの期間が長い時期が長い
 ●副作用で吐き気や嘔吐、食欲不振、体重減少が辛い時期が長い
- 経済的負担と支援について**
 ●治療でかかる費用・交通費、介護・福祉サービスを知りたい
 ●介護保険の手続きがわからない
 ●仕事を休むと、家計がどうなるかわからない
- 医師者とのコミュニケーション**
 ●医師の言葉が難しい
 ●検査結果に納得がいかない
 ●検査結果がわからない時期が長い
- 社会との関わり**
 ●病気について、職場や学校にどのように伝えればよいかわからない
 ●仕事を続けながらの治療が難しい
- 緩和ケア**
 ●病気で疲れた体をケアしてほしい
 ●痛みを和らげてほしい
- 心のこと**
 ●病気が原因で悩んでいる
 ●思いがけない時期が長い
- 家族との関わり**
 ●家族にどう話していいかわからない
 ●家族の気持ちもわからない

下記のがん相談支援センターにお気軽にご相談下さい。
 プライバシーは厳守いたします。相談は無料です。

- ① 福島県立医科大学附属病院 (福島市) ☎024-547-1088
- ② 会津中央病院 (会津若木市) ☎0242-25-1592
- ③ 竹田綜合病院 (会津若木市) ☎0242-29-9832
- ④ 白河厚生総合病院 (白河市) ☎0248-22-2211
- ⑤ 太田西ノ内病院 (郡山市) ☎024-925-8833
- ⑥ 総合南東北病院 (郡山市) ☎024-934-5564
- ⑦ 坪井病院 (郡山市) ☎024-946-7630
- ⑧ いわき市立総合医療センター (いわき市) ☎0246-26-3117
- ⑨ 福島労災病院 (いわき市) ☎0246-45-2251

福島県がん診療連携協議会・福島県
 事務局：福島県立医科大学附属病院

がん患者・家族のための
福島県がんサポートブック



福島県
 福島県がん診療連携協議会




第2版：平成30年9月作成
 10月配布

福島県 出張がん相談開催予定地



◎都道府県がん診療連携拠点病院

○地域がん診療連携拠点病院

○ 二次医療圏に拠点病院がない地域

がん診療連携拠点病院 相談員として

- これからも「どこでも、だれでもが、がんに関する情報を得られる地域づくり」のために、どこの地域にもあり気軽によれる図書館に正しい情報を提供していただけるように発信し続けていく必要がある。
- 相談室で待っているのではなく、自分たちも地域に出ていくことで届けられるものがある。
- 「がん相談支援センター」という相談窓口を知ってそして活用してもらえるように広報活動を続ける。

新地町図書館「がん情報コーナー」



早めに対処！がんの予防と治療について

がんって何？

がんはどういう病気なのか？
予防法や遺伝との関係など
がんについての知る本

がん相談情報
がん情報ガイド

がん情報

国立がんセンターの
パンフレット

がんが診断されたら

自分が、家族が、友人が…
その時仕事は？お金は？
知って備えることから心のケアまで

各種がん情報

がん種別の本
パンフレットもご覧下さい

検査と治療

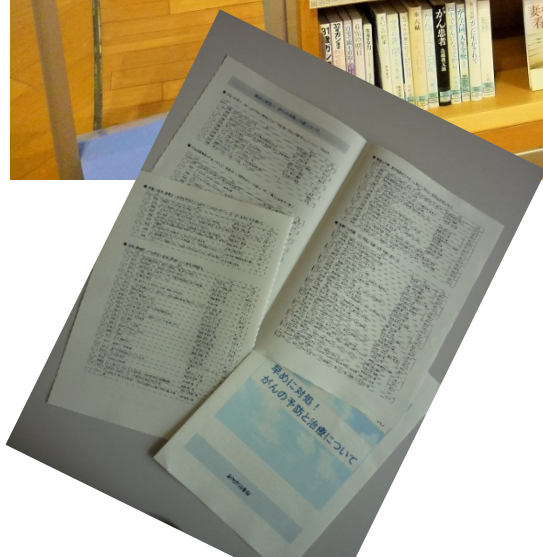
検査数値でわかること
抗がん剤などの
各種治療法について

手記・闘病記

がん患者や家族、
周囲の人の手記や闘病記

術後の生活・食事

再発を予防する生活や、
がんになってから・ならないための
食事法など



新地町図書館司書として感じたこと

- がんの情報を“図書館”という通常的生活行動範囲の中で入手できることが大変重要な事。この連携事業をもっと周知徹底させ広げるべき。
- デリケートな問題。狭い地域だからこそその気遣いが必要。
- 聞きにくい、相談しにくい情報だからこそ、ひっそりと、長く、継続して展示することに意味があるのではないか。
- 「いざという時には相談員がいる」ということを知らせ続けることも司書の責務



ご清聴ありがとうございました

(相馬市：松川浦)